

かわさき区の宝物シート

宝物No.	あうまんのいえともんちゆう
24-1	アウマンの家と門柱



エリア	田島地区	シーズン	通年
	浅野・南渡田	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区南渡田町1-1 テクノハブイノベーション川崎（THINK）内
問い合わせ	JFEスチール(株)東日本製鉄所
TEL	044-322-1111
FAX	
E-mail	
URL	http://www.techno-hub-innovation.com/ (テクノハブイノベーション川崎HP)
交通	JR川崎駅よりバス15分「JFE前」下車徒歩2分 またはJR浜川崎駅から徒歩3分



基礎情報

- 旧日本鋼管株式会社の敷地内にある建物。明治末年にドイツから招いた職工長アウグスト・アウマン氏らの宿舎として使われた。一度は取り壊されたものの後に記念資料館として復元された。現在は一般開放されている。
- 敷地内には、大正7年創業当時の正門に置かれていた石造りの門柱や日本鋼管初代社長白石元治郎氏の銅像が置かれている。

由来・エピソード

- 日本鋼管株式会社（現在のJFEスチール）は、創業当時の明治45年(1912)、ドイツからの製造設備の輸入と同時に、アウグスト・アウマン氏を含む職工長3人と技術士1人を招いた。その時に建てられた職工長の宿舎が「アウマンの家」で、当時としては珍しい洋館であった。4人は第1次世界大戦の勃発により着任後1年余で帰国したが、アウマン氏だけは再び日本に戻り日本女性と結婚、昭和15年(1940)までこの家で娘と共に生活した。
- アウマン氏の転居後は事務所や会議室として使われていた。昭和49年(1974)に解体されたが、後に当時の設計図書を元にして現在の場所に復元された。

補足・その他

- 外観のみ見学可（館内非公開）
- 周辺の旧日本鋼管の工場跡地一帯（南渡田町北側）は現在、川崎市で3番目となる民間主導のサイエンスパーク「テクノハブイノベーション川崎（THINK）」プロジェクトが進められている。国の都市再生緊急整備地域の指定を受け、既存の研究開発支援機能を活用した新事業の創出や新分野進出への支援、産学連携共同研究を実現する研究開発サポート施設群が整備され、賃貸利用に供されている。敷地面積9ha、総延床面積5万㎡。THINKの敷地・施設を活用した「ふれあい祭り」（川崎市・JFEスチールの共催）等のイベントも開催され盛況を呈している。

関連シート

- (22-2) 鶴見線
- (24-3) 新大扇橋
- (27-1) JFE歴史資料館